

森のビンゴゲーム

森の中を散歩しながら、指定された自然の宝物を探します。1列並べばビンゴ！ 五感を使っていろいろな発見を楽しみましょう。



対象	実施時期	定員	所要時間
3歳以上	通年	5~100人	1時間半
可能な活動場所			
散策路			
利用者持ち物		プラザ貸し出し備品	
森のビンゴカード・クリップボード・筆記用具・時計・水筒・帽子（森のビンゴカード春・夏・秋・冬用：ホームページより印刷可）		必要により森のビンゴカード（コピー代がかかります） バインダー	

ねらい

- ・自然の不思議さや美しさに触れ、自然に関する理解や興味、関心を持つ。
- ・森の宝を探すことをとおして発見の喜びを味わう。さらにビンゴを完成させる達成感を味わう。

実施の流れ（当所職員による説明はありません）

導入

- ① 動機づけ（下記「まとめ」参照）
- ② 安全上の注意（下記「留意点」参照）

準備（1グループ 6人程度）

- ① 各班に自然に興味・関心の高い人がいると良いです。
- ② 指導者は事前にコースを歩き、何があるか、危険はないか下見しておきます。

実施

- ① ビンゴカードを各班に1枚ずつもしくは全員に1枚ずつ配布します。
- ② 森の宝物（探すもの）を発表し、それぞれ好きなマスに記入します。※宝物は自然物に限る。

<ルール>

- ・森の中をゆっくり歩きながら宝物を探します。見つけたらチェックします。※班で行うときは、全員で確認してからチェックします。
 - ・チェックが1列並んだら、「ビンゴ！」と言って線を引きます。
- ③ 班ごとに話し合いをします。
 - ・地図で現在地を確認し、ビンゴカードを見ながら回るコースを打合せします。
 - ・必ずみんなで宝物を確認します。
 - ④ 終了時刻を知らせます。

スタート

- ・コースを回りビンゴを完成させます。
- ・指導者に余裕があれば、コース内で助言を行います。
- ・最後に全員で集まり、何本線が引けたか確認します。一つずつ何を見つけたのか確認し、見せ合います。

まとめ

- ・ふりかえり

自然の中にはいろいろな宝物があること、目を凝らして歩くといろいろな発見があることを説明する。

班で協力してできたかどうか、班の中での自分の行動はどうだったか、他の人の行動はどうだったかふりかえります。

片づけ

- ・当所からの貸し出し備品を返却します。

森の宝物（探すもの）例

- 黄色い花（または白、紫色の花）
- 赤いもの
- いいにおい
- スベスベするもの（またはチクチクするもの、ヌルヌルするもの）
- 巣（クモの巣、アリの巣、モグラの巣など）
- ぬけがら（セミ、クモなど）
- 鳴き声（鳥の声、虫の声など）
- 昆虫（アリや蝶など）
- 食べあと（シカやバッタなど）
- 木の実
- キノコ、コケ

留意点

- ① グループでまとまって行動しましょう。
- ② 下りの急坂では走らないようにしましょう。
- ③ 自然保護のため、木の枝を折ったり、葉や実をむやみに取ったりしないようにしましょう。
- ④ 危険防止のため、遊歩道以外には入らないようにしましょう。
- ⑤ 活動範囲を確認しましょう（「これより先オリエンテーリングのポストはありません」看板より先に行かない。道路に出ない）。
- ⑥ 雷鳴が聞こえた場合は中止して近くの建物に避難しましょう。
- ⑦ 危険な動植物（ハチ、マムシ、ヤマカガシ、ウルシ、トゲなど）に注意しましょう。
- ⑧ 緊急時には近くの指導者に連絡しましょう（指導者の配置を説明しておく）。
- ⑨ 緊急時等の対応を考えましょう（引率者の役割の確認・緊急時の連絡方法・救急薬品等の準備）。